初めまして茨城県 取手市のNPO 緑の会です





1000年先も豊かな自然を! NPO緑の会は、地球環境を守るためEM(有用微生物群)資材を活用して、環境問題解決と持続可能な資源循環型社会の実現を目指しております



今日お伝えしたい内容

- 1. NPO緑の会 概要
- 2. EM資材について
- 3. 主要活動(1) 食品リサイクル活動の紹介
- 4. 主要活動(2) 河川浄化活動の紹介
- 5. EM (有用微生物群) 資材を利用した災害支援活動
- 6. 直近の取り組みについて

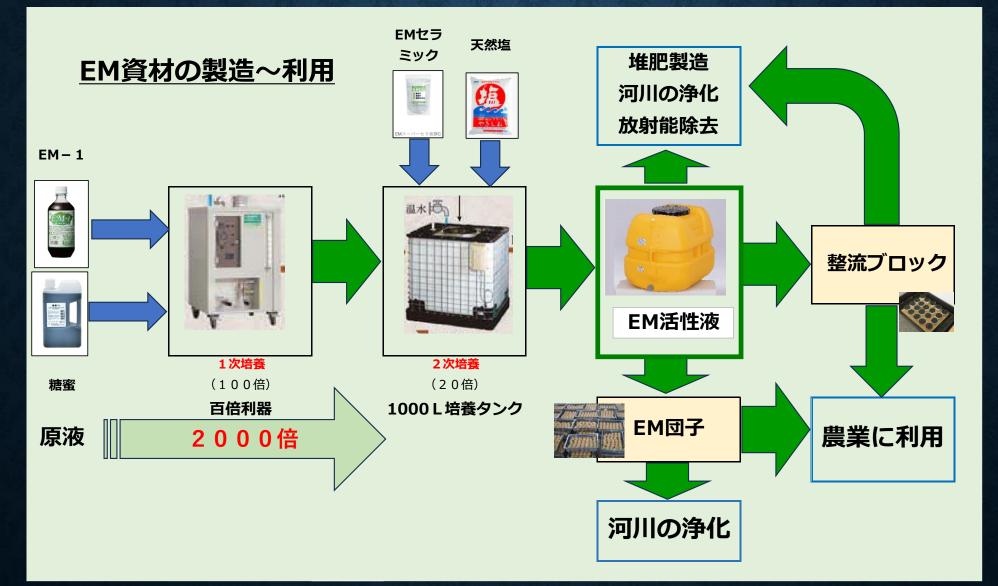


1. NPO緑の会の概要

- 1. 設立 平成12年4月 (草の根活動は平成6年から回収開始)
- 2.目的 環境問題解決と持続可能な資源循環型社会の実現を
 - 目指し、足元からの実践として生ごみリサイクル及び
 - 河川の浄化事業を行い、環境の保全を図りつつ、
 - 廃棄物や環境問題に対する意識の向上に寄与すること。
- 3. 活動拠点 茨城県取手市長兵衛新田359
- 4. 会員数 令和6年6月現在 会員119名 で活動しています。
- 5. 主な理事 理事長 綱島綾子/常務理事 恒川芳克 他4名



2. EM資材について



注)EMはEffective(有用な)Microorganisms(微生物たち)の英文の頭文字に由来しています。 5科10属80余種の微生物の集合体!



3. 活動紹介 食品リサイクル活動(1)

(1-1)食品リサイクル活動

この事業はNPO緑の会が平成6年4月から始めたEMによる生ごみ処理の普及活動にあたって自家利用できない方の為に始めた回収活動が原点です。

生ゴミ堆肥化処理のフロー(1)

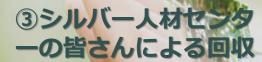






②週1回所定の集積所のペールに開ける







④生ゴミをベルトコン ベアーで粉砕器に運ぶ

①水切りした生ゴミを 専用バケツに入れる



3. 活動紹介

食品リサイクル活動(2)

生ゴミ堆肥化処理のフロー(2)



⑤水分調節のため戻し堆 肥等を混ぜる作業(1)



⑨夏季4~5週そのまま発酵、乾燥させる。



⑥EM活性液を噴霧したり、異物の除去を行う(2)



⑩ふるい機で異 物を除去



⑦撹拌で粉砕した 生ゴミと活性液を混ぜる



①袋詰し、45日で完成



⑧メッシュパレットに 積み上がる生ごみ堆肥。



2 3月に堆肥場で堆肥 の無料配布会を実施

○ NPO 緑の会

3. 活動紹介 食品リサイクル活動(3) 活動地域



凡例:()NPO緑の会の生ゴミ回収対象地区

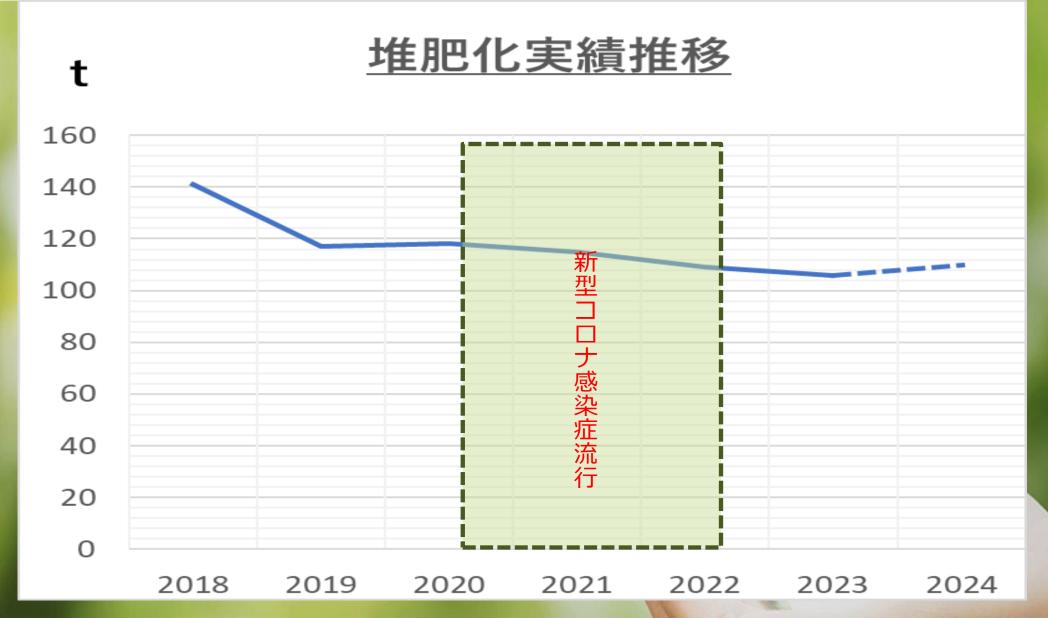


3. 活動紹介 食品リサイクル活動(4)





3. 活動紹介 食品リサイクル活動(5)





4. 活動紹介 河川浄化活動(1)

(1)相野谷川浄化活動

「NPO緑の会」の本拠地取手市を流れる相野谷川の浄化に、平成23年7月18日の「全国一斉EM団子・EM活性液投入」イベント参加を契機に取り組んでおります。

小魚の**『ボラ』の遡** 上を確認致しました。 (2017年撮影)



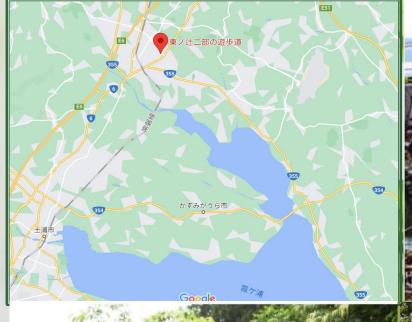


4. 活動紹介 河川浄化活動(2)

(3)東の辻池の浄化活動

石岡市にある「東の辻池」はかつて「清水の湧き出る池」でしたが、生活廃水の流入により悪臭を放つ池となってしまいました。

そこで石岡緑の会にNPO緑の会も協力し、EM活性液やEMだんごを投入した結果、最近では、悪臭が減少し、秋には「カワセミ」の飛来を確認できるまでになっています。











5. EM (有用微生物群) の活用事例 (災害復日)

★常総水害★

2015年(平成27年)9月9日から11日に かけて関東地方及び東北地方で発生し た「平成27年9月関東・東北豪雨」。茨城 県常総市付近では、鬼怒川の堤防が約 200m決壊、溢水7箇所、漏水等の河川 施設被害が発生した結果、建物の全壌 54件、大規模半壊1,649件、半壊3,574 件、床下浸水3,385件、床上浸水168件、 死者2名という甚大な被害となりました。

大規模な水害に見舞われた常総市に 対しNPO緑の会は、EM活性液で支援 を行いました。NPO緑の会では、常 総市上蛇町のK宅、五箇公民館の廃 棄物置場、の大生小学校、新石下町 の廃棄物置場等をEM活性液で浄 化・消臭作業を実施しました。

★ E M活性液で臭気が激減。★







6. 直近のNPO緑の会の取り組み



「ゼロウェイスト 上映会」を10月 に実施。取手市 長、白鳥監督と 恒川理事長によ るトークセッショ ンも折込。 市民への生ゴミ堆肥化に対する理解と協力を求めるため映画「蘇生」上映会を11月に実施

恒川理事長から 綱島新理事長に 交代! 堆肥化協力世帯 の深掘り策計画

2020年1月

新型コロナ感染が始まる

2021年7月

ユニバーサル

ビレッジモデル

づくりプロジェク

卜助成申請

2022年

コロナ感染減少 後、対策を採り つつ徐々に活動 を再開! 2023年

今迄の振り返り を行い、取手市 全世帯の堆肥 化に向けた取り 組みを再構築 2024年

活動開始から 30年目!

